

## 議題1 資料3 ○路線バス減便、廃止に対する市の考え方（案）

### ◆令和7年度までの白井市地域公共交通網形成計画

#### 基本方針

快適な生活の移動手段を確保し“つながる”ことでまちの活力を育む  
**持続可能で利便性の高い公共交通体系を確立する**

### ◆各公共交通機関の役割と今後の方向性

運転手不足など、各交通事業者を取り巻く環境は大変厳しい状況がありますが、現状においても各公共交通機関の役割が大きく変わるものではないと考えています。

しかしながら、公共交通事業者の自助努力のみに委ねては、将来にわたって輸送サービスを維持・確保していくことは困難となってきました。

このことから、今後は地域の魅力の活用や地域住民、企業など多様な関係者が連携、協働して地域の移動手段について検討、取り組むことが必要であると考えています。

公共交通機関	役割	方向性
鉄道	●市内外を結ぶ基幹的交通手段としての役割	利便性の向上
路線バス	●市内外の駅、主な施設や住宅地を結ぶ幹線的な交通手段としての役割	運行頻度の維持
コミュニティバス	●各地区内をベースとして、駅や交通結節点などを中心とし、路線バスを補完しつつ、市内の交通空白地域の解消に資する支線的な交通手段としての役割	運行の維持・利用者の実情等に 応じた運行の見直し
タクシー	●上記の公共交通機関ではカバーできない区間や時間帯を補完する役割	需要と供給のバランス

+

公共交通機関	役割	方向性
連携・協働による移動手段 (デマンド交通・グリーン スローモビリティなど)	●公共交通機関ではカバーできない区間を補完し、市内の交通空白地域の解消に資する交通手段としての役割	それぞれの移動手段等の特性を考慮し、地域にとって最適かつ持続可能な移動手段の確保

## ◆連携・協働による移動手段

### ① デマンド交通

デマンド交通は、公共交通機関ではカバーできない地域において、タクシーのように利用者の要求に応じ、指定の場所から目的地への移動を路線バス並みの指定の場所から目的地への移動を路線バス並みの比較的低コストで利用できるのが特徴です。

※様々な運行形態があり、それぞれにメリット、デメリットがあります。

イメージ図 利用者からの予約を受けて運行する、乗合交通手段です。



#### 【メリット】

- 利用者のニーズに対して、柔軟に対応できる
- 公共交通機関の運行ルートから外れている人でも移動手段が確保できる。

#### 【デメリット】

- 事前に予約が必要となる。
- 乗合輸送となるため、利用地域や利用者が多くなると、所要時間がかかる。

### ② グリーンスローモビリティ

時速 20 km未満で公道を走ることができる電動車を活用した環境にやさしいエコで短距離のきめ細かな移動サービスです。

イメージ写真



#### 【メリット】

- 地域運行が可能（住民が運転手）
- 狭い道路の通行も可能
- 環境への負荷が少ない

#### 【デメリット】

- 長距離の移動や交通量の多い幹線道路での運行は不適

## ◆連携・協働に係わる今後の検討について

鉄道を始め、路線バス、タクシーなど各公共交通機関の役割から、事業者間の調整が重要になると考えています。

また、誰が運行を担うのか、事業者の有無や地域の移動ニーズや移動提供体制、公的負担の状況等の分析状況を掘り下げて判断する必要があり、次期公共交通計画において、連携・協働の取り組みを明確に位置付けたうえで、継続性の確保も念頭に置きながら、計画的に実施していくことが必要であると考えています。

## ◆減便、廃止に係わる今後の方向性

地域交通を取り巻く環境が、急激に悪化している現状においては、解決に向けた取り組みを加速していくことが必要であることも認識しているため、まずは、コミュニティバスの運行見直しに組みたいと考えています。